

# ごみ出しで困っている人の実態は

弥吉 治一郎 議員

## 答 地域の役員を通じて、実態の把握に努める

集は基本的には地域住民の助け合い運動で解決を願いたい。

**かんきよう課長** ステーション方式へ移行時、高齢者等生活弱者対策が議会で質問され、戸別収集が残された。当時は13世帯だったが現在は8世帯が戸別収集されている。地域の協力で可燃ごみの搬出が行われている世帯数は把握できていない。

**問** 可燃ごみの収集が戸別収集からステーション方式になる時、高齢者や生活弱者対策として個別に相談があれば戸別収集も行うと約束していた。このことを知らず、無理してごみステーションまで搬出している人が転倒し、骨折する事故が発生している。戸別収集の実態は。

**市長** 高齢化の進展で高齢者のみの世帯が増加しているが、可燃ごみの収



高齢者等生活弱者への戸別収集します

**問** 可燃ごみ搬出がステーション方式へ移行され10年が経過した。ご近所の助け合いで搬出されている世帯数を調査し、行政区长、民生児童委員等へ戸別収集も可能なことを説明し対処するのが行政の責務だ。

**かんきよう課長** 地域の役員を通じて実態の把握に努める。

**市長** この補助規程は昭和44年に制定しており、かなりの時間が経過している。今年度、課題解決に向け、規程の改正検討を指示した。また、街灯の補助に関する予算も、大幅増額を提案している。

**問** 危険な場所の把握についての認識は。

**地域支援課長** 警察に尋ねると、基本的に夜中の公園、コンビニの駐車場

# 防犯灯の設置推進と規程見直しを

山下 秀則 議員

## 答 予算の増額提案、規程改正を検討している

**問** 筑後市の路上はまだまだ暗く、市民からも危険な場所に街灯(防犯灯)をつけて欲しいとの要望が寄せられている。

がたまり場になっている。しかし、危険な場所は市内全域にあるとの認識を持って市民に呼びかけている。

## 悲惨な交通事故を防ぐために

**問** 高齢者が加害者とな

**市長** 交通事故防止の観点からは一つの案だとは思いますが、特典を設けてまで返納を促す状況ではないと考える。



犯罪の抑止力として街灯の設置推進